

様式第1号（第5条関係）

年 月 日

男鹿地区消防本部消防長 様

申請者住所
氏名
電話番号

住宅用火災警報器取付け支援申請書

次のとおり住宅用火災警報器の取付け支援を申請します

設置建物の住所	
設置建物の世帯主	
申請者と世帯主の関係	
取付け希望日時	年 月 日 時
取付け希望個数(場所)	個(寝室 個・階段 個・台所 個・その他 個)
設置建物の所有区分	持家 ・ 賃貸住宅 ※賃貸住宅の場合は、所有者から下記の許可を得ること。

私の所有（管理）する次の賃貸物件について、住宅用火災警報器の取付け支援を承諾します。

(物件)	(所有者・管理者)
物件名 _____	住所 _____
	氏名 _____
所在地 _____	(名称及び代表者氏名) _____
	電話番号 _____

備考 申込者は運転免許証等の身分を証明できるものを提示してください。
住宅用火災警報器の取付けの際に家の壁等に穴をあけることがあります。
本事業で取り付けた住宅用火災警報器の誤報や故障に関して消防本部は一切の責任を負いません。

※消防記入欄

受付欄	備考
	取付け予定日 年 月 日

年 月 日

男鹿地区消防本部消防長 様

申 請 者 住 所
氏 名

誓 約 書

私は、男鹿地区消防一部事務組合住宅用火災警報器取付け支援事業の利用を申請するにあたり、下記の条件を承諾することを誓約します。

記

- 1 消防職員が寝室や居間等に立ち入ること。
- 2 自己及び同一世帯内の者以外の者が所有する建物の場合は、事前に様式第1号により当該物件の所有者または管理者の承諾を得ること。
- 3 物件の構造及び家具の配置によって、希望通りの箇所に住宅用火災警報器を取付けることができない場合があること。
- 4 住宅用火災警報器及び取り付け具の代金は自己の負担とすること。
- 5 住宅用火災警報器を取り付ける際に、壁や天井に穴を開ける場合があること。
- 6 本事業によって支援の実施後に支援に係る設備、住居等に生じた汚損、毀損について消防本部に損害の賠償を求めないこと。
- 7 本事業によって取り付けられた住宅用火災警報器の不作動や故障等により、災害による被害が発生した場合において消防本部に損害の賠償を求めないこと。
- 8 本事業によって取り付けられた住宅用火災警報器の誤発報等により、不利益が発生した場合において消防本部に損害の賠償を求めないこと。
- 9 住宅用火災警報器の取付け完了後は、自己の責任において適切に維持管理すること。

様式第3号（第5条関係）

年 月 日

男鹿地区消防本部消防長 様

住 所

氏 名

確 認 書

私は、男鹿地区消防一部事務組合住宅用火災警報器取付け支援事業において住居内に住宅用火災警報器が取り付けられたことを確認し、機器の維持管理について説明を受けました。